

教職大学院 FD 研修会（実務家教員・研究者教員の協働）を開催

2020年2月26日（水）13時30分～15時まで、教職大学院FD研修会「教職大学院における研究者教員・実務家教員の協働の到達点と可能性」を大津キャンパス研究棟教職大学院演習室で開催しました（専攻専任教員10名が参加）。

高度な実践的指導力育成に向けて重視される「理論と実践の往還」の実現には、実務家教員と研究者教員の協働の具体化が大きな鍵となります。本学教職大学院では、昨年度外部講師をお招きして「実務家教員と研究者教員の協働」をテーマにFD研修会を実施しましたが、本年度は、同じ主題を定めたうえで、内容については、本学教職大学院の各教員レベルでの創意工夫の交流及び取り組みの検証（設置当初の計画に即した取り組みができていないか）を軸に据えました。

今回の研修会では、田村特任教授の進行のもと、3人の専攻専任教員より事例報告をいただき、それぞれについて協議・意見交換を行いました。まず奥田教授（教育実践力開発コース）より研究面を中心とする協働について話題提供があり、同教授が積極的に推進している研究者教員・実務家教員の共同研究の内容と、それらの教育活動への還元の方法等について紹介いただきました。次に畑准教授（教育実践力開発コース）より、教育面での協働の実際について報告いただきました。授業・授業外活動で多様な協働を実践するなかで、授業間・教育活動間のつながりの確保を重視した動きを企図されていること等、教職大学院のカリキュラム・マネジメントにつながる構図での話題提供をいただきました。最後に、本年度末で定年を迎える河口教授（学校経営力開発コース）より、本学教職大学院の開設準備に従事された見地から、設置時計画に照らした本学の取組の到達点と今後の発展への期待についてお話いただきました。

今回の研修会では、他に専攻専任教員数名より紙面での取組紹介もあり、それらも交えて教員間で活発な意見交換が行われました。今後本学教職大学院の拡充も予定されている中で、現在までの取組とそこで私たちが大切にしていることについて、意義ある振り返りの機会となりました。



奥田教授による話題提供



畑准教授による話題提供



河口教授による話題提供